



### データボード ⑤7

- ① 長崎県島原市下新町
- ② 幅0.6m・深さ0.5mの水路約70m,  
幅1m・深さ0.5mの水路約40m
- ④ 自然石、ヒノキ
- ⑤ 毎年5月にコイの放流

島原市は湧き水の多いまちで、「鯉の泳ぐまち」は市街地中心部にある。以前は、個人の家の庭々から湧き出た水は水路を流れてそのまま捨てられていたが、昭和五十四年ころからこの湧き水を利用し、町内の人々がコイを放流し育てている。町なかの道路脇の水路を泳ぐコイは、住民と観光客の目を楽しませ、また、個人の敷地を借用し、自然石を使って設けた風情のある洗い場や休息場は、付近の人々に利用されている。

さらに、この水は下流で近在の二四二ヘクタールの高地の畑を潤し、農業生産にも寄与している。